

本シンポジウムでは、防災・環境問題を考え行動するきっかけ作りをします。第1部は雷・異常気象といった最近注目を集める気象現象にどう備えるかを考えます。第2部のトピックは、地震・火山噴火の防災減災やCO₂・地球温暖化問題です。本シンポジウムを通して、「誰一人取り残さない」約束掲げるSDGs社会の大切さを再確認する機会にしましょう。



伊藤 麻衣 (Mai Ito)

静岡県出身。法政大学を卒業後、一般企業に勤めながら気象予報士を目指す。2011年に気象予報士試験に合格後、ウェザーマップに所属。2017年からNHK静岡「たっぷり静岡」で気象情報を担当。



孫 曉剛 (Xiaogang Sun)

静岡県立大学国際関係学研究所准教授、同大学SDGsイニシアティブ推進委員。アフリカの地域住民による環境利用と災害対応に注目した生態人類学的な研究に従事。



吉田 智 (Satoru Yoshida)

気象庁気象研究所気象観測研究部主任研究官。雷放電の観測技術に関する研究を進めるとともに、水蒸気ライダーの開発やデータ同化を用いた線状降水帯の研究に従事。



藤江 幸一 (Koichi Fujie)

千葉大学研究担当理事、学術研究・イノベーション推進機構長。社会技術研究開発センター「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム」のプログラムアドバイザーも務める。



森本 健志 (Takeshi Morimoto)

近畿大学理工学部電気電子工学科教授。電磁波を用いた雷放電観測装置の開発と雷放電物理に関する研究に従事。宇宙からの雷観測ミッションの経験を有し、現在日本で唯一ロケット誘雷を行っている。



服部 乃利子 (Noriko Hattori)

静岡県地球温暖化防止活動推進センター次長(NPO法人アースライブネットワーク 専務理事)。県内自治体や企業・団体、学校、県民と連携して、地球温暖化防止のための取組みを実施。



嶋川 仁 (Masashi Kamogawa)

静岡県立大学グローバル地域センター地震予知部門特任准教授。NPO法人富士山測候所を活用する会専務理事・事務局長、NPO法人宇宙工学コンソーシアム理事などを務める。



楠城 一嘉 (Kazuyoshi Nanjo)

静岡県立大学グローバル地域センター地震予知部門総括・特任准教授。南海トラフ地震や富士山噴火から静岡県民を守るための研究・啓発活動を実施中。



Earle R Williams (アール ウィリアムズ)

米国マサチューセッツ工科大学リサーチ・サイエンティスト。米国スワースモア大学卒業、同大学院修士課程修了後、1981年マサチューセッツ工科大学で地球物理学の博士号を取得。大気電気学、気象学、火山学などを研究。米国気象学会フェロー、米国地球物理学連合フェロー。



谷 晃 (Akira Tani)

静岡県立大学食品栄養科学部教授、同大学SDGsイニシアティブ推進委員長。富士山やワサビ棚田などに出かけ、環境と植物の相互作用を解明する研究に従事。



国際シンポジウム 防災 × 環境 × SDGs (2月11日)

参加申込書

下記の申込書に必要な事項をご記入のうえ、2月10日(木)17:00までに、FAXまたは郵送にて「グローバル地域センター」までお送りください。ホームページからお申込みいただけます。なお、定員となり次第、締め切ります。

FAX・郵送先

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠3-6-1 もくせい会館2階 静岡県立大学グローバル地域センター

FAX: 054-245-5603

TEL: 054-245-5600 ● <https://www.global-center.jp>
E-mail: glc@u-shizuoka-ken.ac.jp

フリガナ 氏 名			
会社・団体名			
御住所	〒	TEL :	FAX :
	ご勤務先		ご自宅 ○をお付けください。
Eメールアドレス			
今後、当センターからの講演会の案内を	希望する	希望しない	

*FAX・郵便にてお申込みの方には、順次、参加確認の通知をしますので、御確認ください。ご記入いただきました個人情報につきましては、静岡県立大学が開催する講演会のご案内にのみ使用いたします。

*新型コロナウイルス対策のため、マスクの着用、入館時の検温に御協力ください。

*新型コロナウイルスの状況によっては、会場での開催は中止、又は会場定員を減らしての開催となる場合があります。